

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成 17 年 3 月 3 日 (2005.3.3)

【公開番号】特開 2004-42024 (P2004-42024A)

【公開日】平成 16 年 2 月 12 日 (2004.2.12)

【年通号数】公開・登録公報 2004-006

【出願番号】特願 2003-120880 (P2003-120880)

【国際特許分類第 7 版】

B 0 1 D 69/08

D 0 1 D 5/24

// D 0 1 F 6/06

【F I】

B 0 1 D 69/08

D 0 1 D 5/24 Z

D 0 1 F 6/06 A

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 3 月 25 日 (2004.3.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 5】

口金本体の中心部から放射状に複数の空所部形成駒を配置して設け、隣り合う空所部形成駒間に熔融樹脂が押し出される狭い空隙の補強リブ部形成スリットを設けるとともに、それら補強リブ形成スリットの外端同士を連結して熔融樹脂が押し出される環状の外周壁形成空所を設けていることを特徴とする中空系膜熔融紡糸用吐出口金。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、本発明に係る請求項 1 ~ 2 に記載の熔融紡糸中空系膜は、管状の中心軸部から放射状に、好ましくは等角度で複数の補強リブ部を隔壁状に設け、それら隣り合う補強リブ部間が空気または水が透過する長い空所部を形成していることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

さらに、本発明に係る請求項 5 ~ 6 に記載の中空系膜熔融紡糸用吐出口金は、口金本体の中心部から放射状に、好ましくは等角度で複数の空所部形成駒を配置して設け、隣り合う空所部形成駒間に熔融樹脂が押し出される狭い空隙の補強リブ部形成スリットを設けるとともに、それら補強リブ形成スリットの外端同士を連結して熔融樹脂が押し出される環状

の外周壁形成空所を設けていることを特徴とする。